一月八日三種郵便物認可

今朝宮内郷の大火
三十八戸燒拂ふ
慘、火元の老爺燒死
罹災者ら小學校に收容

皮肉！防火デーの火事——今一日午前一時四十分頃内郷村大字宮字竹ノ内木賃宿佐藤徳治郎さん(六三)方から發火水利便極めて悪いため忽ち隣家の牛乳屋服店、吉田雜貨店、馬目酒店など燃へ移り更に火の手は八方に延び遂に民家二十三棟三十八戸を燒拂ひ同四時十七分鎮火したが火元の徳治郎さんは中風のためかねてから病床にあり身体の自由がきかず哀れにも燒死した

この寒さにいづれもふるいてをり各方面から同情され救ひの手は延べられてゐる

火の手意外に早く
罹災者は着のみのまゝ

(別項)炭鑛街の火災につき平署からは直ちに本田司法主任其他係員が急行取調べた結果原因は、中風の徳治郎さんがこゝ二、三日の寒氣來に炉の側に寢てゐたとゞろからみてその布團についた火が戸障子に燃え移つたものと明したがなんせ眞夜中のことゝて發見が遅くそれに水不足のため火は見る〳〵うちに燃えひろがりかくも大事に至つたものとみられてゐる、損害は約十萬四の見込み

尚村當局では罹災者を宮小學校に收容する一方善後策を講じてゐるが罹災者は火の氣が除かに早かつたゝめ着のみ着のまゝで飛び出したものが多く

江名濱船曳場起工
漁船遭難一掃される

江名町永崎漁場は往古鹽田の置かれたる歴史を有する所だけに海岸生活には相當の經驗を有する部落であるが鹽田整理後は各濱同様漁業六分農四分の半漁村を以て甘じて來たが近年揚繰網漁業の勃興と共に廣漁なる沙原のあるを目がけて漁業の進展を見るに至つた然るに從來船曳場の設備なき爲めに時化毎に船舶の遭難甚だしいので現町長作山氏は幾度か縣工事として施工する樣縣に陳情して居つたものが此程容れられて廿九日午前十時其現場に於て起工式を擧げ來春三月までには完成の見込みにて初めて從來の遭難から救濟し得るに至り部落民は何れも喜んで居る

岡部中尉軍葬
海合同葬

既報渡邊村出身故岡部三郎海軍特務中尉の海軍合同葬は三十日午後二時から横須賀海兵團で執行されたが戦死狀況は左の如く横鎮から發表された

十月七日廣東省中山攻略に際し〇〇の戦闘で奮戦中右大腿部に貫通銃創複雑骨折の重傷を負ひその後軍醫官の懇篤なる治療を受けしも効なく十三日午前二時四十分遂に戦傷死す

修養團の座談會

本一日午後六時より常陽銀行二階に於て修養團本部松田富保氏が、北海道、巡回講演の歸途平市有志が同氏を聘して講演座談會を開く

築港問題
「小名濱急施町會」

小名濱商港第二次明年度豫算繰入運動は縣當局並に小野町長必死の努力も其効なく第二次考査から削除さるゝに至り第三次繰入運動の段階に入る筈で本日は急施町會を開き其善後策を講ずる必要ありと有識の議は奔走中である

發車間際に引拔男檢擧

福島中村田中本人造織組合社人事係り帆刈武四郎(三)は錦町吳羽紡績工場職工入隈兼吉(三)外五名を好餌を持つて引拔

東部聯合教育總會に臨みて (五)

小名濱支局通信

文部長 小野 務平

▽改正された中等學校入學生の選拔法

遂年入學難に苦しめられる中等學校に進學の生徒を持つ父兄保護者の立場から常に關心を持つ所の本年度から實施する入學生選拔法が改正され愈々明年度から實施する爲めに全國小學校兒童會を開いて其實質を檢討し既に本會としても改正法を是認し之を維持するものの決議を與へて居ると云ふ點から見て尤も適法にあると信ずるに足るものであらう兎に角本部からは平第一校長の篠山氏が出席大會の決定した方針としての談話を聞くところである

一、出身小學校長の内申

二、教科書に憑らざる口答試問

三、體格檢査

と云ふ三つの部門に依つて其入學が決定せらるゝと云ふのが眼目であるから各校長の内申にどれだけ信を置くかどうか亦校長は其内申生徒に對する内容調査報告に憑るものである事勿論である、こうした内申を基礎として試驗委員は口答試問と體格檢査を以て採否を決定するのであるから校長の内申が尤も重大であると同時に各調査の調査報告も亦重大で茲に公平な私心ない眞に神に近い清淨な心意氣を以て當ると云ふのが我々教育家に與へられた使命であるから信來よりも愼重な注意を拂ふの必要あると篠山氏は結んだ

此改正方法に依つて我々保護者側から見る處に從來の學術試驗を以て決定したものとの比較に於て一段の不安を感ずるものの一人であつた事を遺憾とする何となれば學術試驗は不公平に取扱ふとしても之れには取扱ひの出來ぬ答案が何より證憑である、つまり實力が答案に現はれ試驗委員のどうにもならぬ不動のものであるが改正法によると校長の内申調書からして公平を旨としても其區が人情の弱點で生徒の容姿や言動に依つて手加減が己むを得ない場合がある、況んや中等學校の試驗委員に至つては口答試問と更に體格檢査とは共に他の何人も之れに容喙し得ない道を辿るのであつて心的作用でどうにも出來る餘地が與へられて居るような譯けで遂に其だしき不公平なる採否方法と化す恐れがある結局神の如き眞心を捉へて鬼の如き邪心を放つに人變使相なつたと見るゝ事が其領分を擴大したと見る事が出來る

此改正法たるや全く人心を神に返れそして邪心を神に捧げよと云ふ事であらうが人間界にはこれが出來そうでない殊に喜怒哀の表情が物により事に觸れて湧き易い人間世界には決して萬金の改正だとは思はれない樣な氣がして耐まらなかつた、それでも此大會はこの改正を維持する事に決議を與へた過を見ると神世時代に代つた神の心に依つて明暗なき選拔法として之を維持せんとするのであらうが茲に我々は多大の疑點を懷く一人である

（續く）

散華
勇士の父
各種團体へ寄附

既報ノモンハン附近の激戦で八月二十日壯烈な戦死を遂げた湯本町出身補正光少尉の慰靈祭が五日原隊で執行されることになつたが同町勝行院住職の實父柿正隆師は愛息故少尉の冥福を祈るとあつて今一日同町銃後會へ三十圓、在郷軍人分會、警防團、愛婦分會、國防婦人會、湯本小學校、青年團、警中支會、石城郡佛教慈善會、石城郡佛教青年教會へ各二十圓宛寄附町當局を始め各關係者を感激せしめてゐる

鰯群襲來
揚繰船一齊歸港

魚鉱部から昨今まで約半歳十八條テン船を加へ百艘に近い漁船が小名濱港から鹽釜港に移つて金華山沖を中心に繰業中であつたが季節が小名濱町沖合に襲來する時となつたので一昨日から今朝にかけ一齊に歸港し鰯の來群を待望して居る有樣で火の消えたるが如き漁場は俄かに活氣を呈しイザ鰯群來れと云つた構へで準備を進めて居るが昨日は西風強かりし爲め見込なく本朝 空模樣では尤も鰯の來襲に適した天候だと早朝から出漁にドシ〳〵出帆し何れも大漁を目されて歸港を待つて居る

泉驛大擴張
「擴張に備へて」
愈廿八日から着工

常磐線泉驛はり名濱海岸軌道の臨港鐵道株式會社と改正と共に六キロの臨港線は目下着工中で泉驛の結果先づ貨物受付室を驛舍の西南隅に十坪を張り出し更に京北隅に八坪の增築をなし驛員の收容を容易ならしむる計畫に依つて去二十八日から着工するに至つたので該驛は常磐線中繰驛を凌ぐ出入貨物の輻輳を見るに至るべしと見られて居る

臨港鐵道の
銃後の生産部隊もこんなに活動と

前線慰問の映畫作製

社會課では本縣出身の將兵各位が遠い異邦にあつて忘郷の念を慰むべく郷土産業方面の活躍狀態をフヰルム納め之を第一線に送つて映畫となし慰安する事に決し矢野主事潮川助手一行は昨日江名町に來り江名港へ船の狀況、鰯〆粕の狀況等を撮影し更に小名濱、其他の農村の實況を撮影する筈にて各當業者は其時宜に適した事業に滿腔の敬意を拂ふて居る

大陸を旅して (一)
篠山 廉

首都大新京へ

十月八日九時四十五分思出多きハルビンを辭して南下新京に向ふ、この日、一行を二班に分ち一班は飛行機を利用することになつたが、生れて初めての空の旅 乘りたくもあり、又何んとなく薄氣味悪るく思ふは吾等のみの心境にあらざるべし、一行の計劃部員は、何を考へたか、老篤組を第二班として昨日新京——奉天のコースに入れてくれたので先づ今日の若組のお手際如何を見ることゝした、汽車は廣茫際限なき沃野を走る、東滿綏賓線の沿道は殺氣なき荒野の間を走りたりしも、こゝは見ゆる限りの廣野殆んと開拓せられ一キロもあるかと思はるゝ畦畔に大豆、高粱、綿などが夢かに穫り恰も收獲に忙しそうに滿農が稔で居る、十四五歳の男の子が牛の群を追ふて、呑氣そうに遊んで居る、中には牛の背に腰掛ひに抱ついて寝轉でもして居るしいのが見える何につけても悠々たる、ぼつ〳〵見える、樣農に土の家の周圍は放飼の黑豚家鴨がウロ〳〵遊んで居る、家根の上が赤いのが不思議だと目を見張れば屋上に一ぱいに唐辛が干してあるこんどは黄色だと見ると、玉蜀黍が乾してある、目隠しされたロバが、ぐる〳〵石摺臼を廻いて居る、多分高粱でも粉にして居ることだらう、部落の附近には必ず赤い幕を引いた小さい祠がある、中には家敷跡でもあらうか、祠だけがしよんぼり殘され今は誰すら人もない、さびしげなものもある一行中の物識りと自らも許して居る或人が、あれは福の神の祠だと説明されたが果してそれだとすれば空になつた屋敷跡に祠だけが殘されてあるのは餘りに不思議に見ゆ滿人は都合よい時のみ神を念じ後は野となれ山となれの輕薄なる信行では誠になきけなく思はる

新京の見學

十六時十分新京着、飛行機で先づ第一班の六名其他縣人の多數が出迎へてくれた、先づ荷物を宿の番頭さんに托して、觀光バスで一巡することになつた

新京は滿洲國の首都で、昭和七年三月蕉石長春を改めて名づけ中外に獨立建國が宣言され、爾來秩序整止内政の實あがり、我が國が列國に率先してこれを承認し全權大使を駐劄せしめ關東軍司令部を移された所であり街路整然、五十萬の大都市を目標とし着々計劃を進められて居る現在人口三十五萬五十内、日本人八萬二千歐米人九百と稱せらる、市街は二線自角を配し幹路の幅員六十米支路は三十米全市の三割の面積を道路とし國際飛行場、大運動場國營の娯樂機關も備り新進都市としての機關を充分に備へて居る何しろ、尺土寸地を惜しむ内地とは異る土地ふんだんにもつ國の事だかしこんな大規模の計劃も出來る事なのだらう途中高等法院の建築を見せられたが凡てが圓形に出來て居て一つの角といふものがない珍らしいものだ、事變當時の激戦地南嶺の戦蹟を弔ひ倉本少佐以下四十二士が忠死の地、一々戦死の跡に立派な碑が建てられ、今も尚ほ當時を語つて居る、噫吾等今踏みつゝある地は嘗て勇士の血を以て染めし地、あたりの一本一石も肉片をかうむつたことゝ思ふと、勿體なくて足のやるせもなき心地せらるこの〳〵ぶの血もて飾りしいくさあと

踏むもかしこし昔思へば、あたりの木の枝に何人かゞものしたる木札が下つて居た

弔四十二士　石川血染めし草葉の色はあせるとも蔓はたかしの家のあと

杯喰つた米屋さん

事市五丁目米穀商三浦猪之助さんは去月二十六日午後一時頃來店した赤井村驛前吉田光一と稱する三十二、三才の男が米三十俵と木炭二十俵を世話するからと言葉巧み持かけ手付金一十圓を持去つたまか更に翌二十七日海軍應召兵を見送りに來たのだが木炭代が少し足りないからとまたもや金一四圓を受取立去つたが幾日過ぎても米も木炭も届かず不審に思ひ手紙を出したところ戻つて來たのではじめて詐欺かゝつたことを判明し警に訴へ出た

遠藤中尉の豐間村葬

十二日小學校で決定

既報ノモンハン國境戦で散華した豐間村出身歩兵中尉遠藤角之助氏の村葬は十二日午後一時から同村小學校で執行される

木田氏の大野村長

四日村會で決定

既報吉田保之助氏の辭職に伴ふ大野村の後任村長推薦問題は荒川現助役の昇格派と木田機江村議推薦派とに別れ暗闘が續けられてゐたゞけに成行を注目されてゐたが結局木田氏推薦に決定したので來る四日正式に推薦村會を招集することになつた

女將等が銀翼献金

江名町

南町山口屋女將志賀かつさんを始め女中さん達一同は時局柄今次も變物殺以來冗費を節約献金運動をつゞけてゐるが今度五圓八一錢を銀翼献金した、かつさん達の献金運動は今回で二十七回目とある

ダイヤ盲取の仁公逮捕

副産物、揮發油

闇取引男も檢擧

錦村字人倉出木仁(三三)は去月二十五日食糧品亂売し價格百四十圓、新タイヤ一本を密取した外湯本町天王崎瀬德太郎氏からトラック用生揮發油自圓分購入方を依頼され着服したこと發覺この稀植出荷に檢擧されたが長瀬は闇取引の疑ひあり引續き取調べられてゐる

娘を襲ふ不良少年

植田署に捕はる

植田署では去月二十八日夕六時頃錦村大字中田吳羽紡績工場女工加藤ヒサ子さん(四)が給料を貰つて歸宅の途中同村中一街道で覆面の男に襲はれ給料袋を強奪されんとしたが抵抗し逃れて來たとの訴により直ちに捜査を開始したが三十日附近を徘徊してゐた川前村大字川前岩城松吉氏長男光義(二)—假名—と判明檢擧した

ラヂオ

今晩の番

▽後六、〇〇子供の時間 童話劇「興亞皇軍隊」鈴木壽雄作、宇治淵治他指揮田村しげる

▽後六、二五講演「日本海軍の重要性と艦鶴鎮守府開廳の意義」秋山明造

▽後七、三〇特別講演「火災と豫防について」内務次官、遠茂雄

▽後七、四〇講演（中支より）と演藝

▽後八、四〇浪花節「舉れの子婦」桑名代司作 梅原秀大

明日部

▽前九、四五幼兒の時間 唱歌と獨唱

▽前一〇、〇〇衛生メモ

▽前一〇、二〇家庭の時間 「冬の子供と遊ばせ方」末田ますこ

▽後〇、〇五土曜コンサート

▽後一、一〇出征軍人遺族家族慰傷病將士慰安會—群馬市公會堂より

▽後二、一〇ラグビー試合實況

▽後三、〇〇婦人の時間 中等學校へ進む子供を持つお母様へ、商業方面に志すには金井浩

▽後六、〇〇子供の時間 お話「海のつはもの潜水艦」海軍中佐加藤恭究

▽後六、二五講演「戦時に於ける米穀貯藏と其食糧的價値」農學博士近藤萬太郎

▽後七、三〇國民歌謡「慈」⊙出征家族のタ⊙七、四〇講演二、獨唱と合唱譽れの家へ他

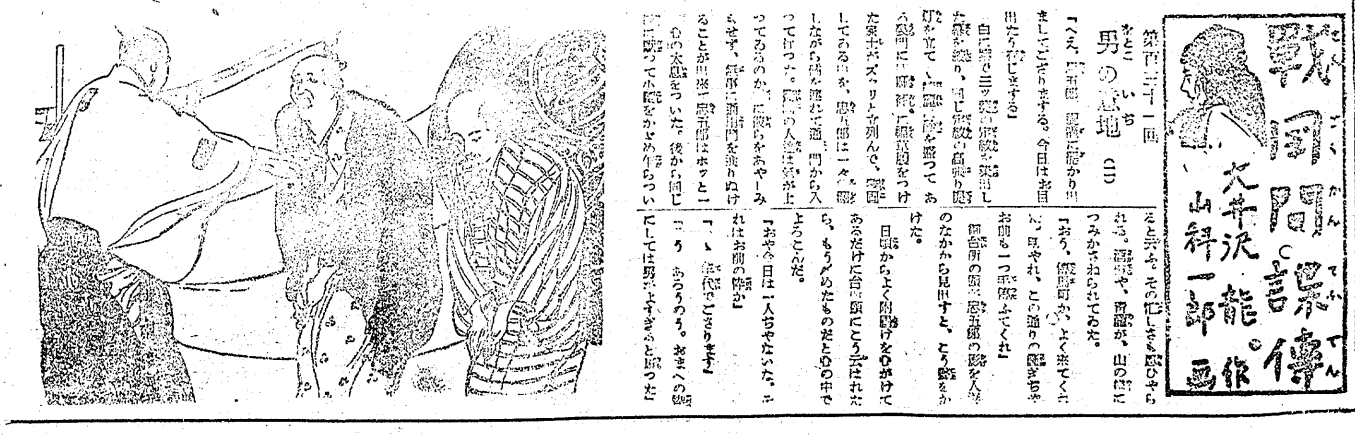
帝都演藝豪華名流演出

應召軍人慰問品
基金造成演藝大會

浪花節廣澤虎若
講談神田伯都
歌踊丸山和歌子
外數種

場所平公會堂
期日十二月十九日
會費金八十錢
ヒル正午　夜五時

主催 磐城通信社
後援 平市役所
外各種團体



乙女心風景

岡成志

乙女心というものは、誰の心にも潜在するものである。かくれすこの後生涯、秘密にしてゐたことは申すまでもあるまい。しかし、その思ひを表現するチャンスはなかなかなかったのである。

少女の家には、鶏が飼ってある。鶏は小さい籠に入れてあるが、二日に一度は外に出すことになってゐる。鶏小屋の掃除、餌の補給、卵の取り出し、水の取換、すべて自分の仕事である。

ある秋晴れの日、その家のお隣に、新婚の若い夫婦が住んでゐる。男は、商用で、文部省、長崎、横浜、神戸、東京、大阪、名古屋、仙台、新潟、秋田、青森、函館、札幌、旭川、釧路、帯広、室蘭、小樽、函館、青森、仙台、新潟、東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、長崎、文部省、商用で、男は、

よって、ある日、青年夫婦の家の庭にスリ込んだ。隣家にたいしていほっておくのだが、大切な物を見出したので、怒って小言をかけた。鶏はびっくりして舞い戻った。

そのことあって以来、少女は、午後三時ごろ、隣家の仕事が終ってゐるころを、ひそかからかってはいけないと、隣の庭に逃げ込んだ。鶏が家に逃げれるのを、さも自分がからかはれるかのやうに、よろこんでゐた。

――と、いふだけの話である。

――なぜ、ここの話をその女の年齢、女の年齢から、また、ふきしてゐるか、それは、

――ほんとうに、毛のなんかもしばらく隣地へ行かしていただくといってのさけどね。

隣地からおかゆ、りになっておとなりの且那さまにとても悪さまを大切になさるとすつて、

分隣するもの、一回一分間するもの、一回十二分間遊戯して鍛錬するものなど、八通りにわかってその成績を調査したところ、一般に長時間鍛錬したが効の上に最も良いと考へられてゐた常識が覆へされたのは意外でした。

◇…新目 を記録してみると、やかい時間の鍛錬の方が数多くつてゐますが、鶏は、すこしも同じてゐません。鶏小屋の中にはこれを一時間もつづける必要がある鶏く人もありますが、本当に充実した鍛錬は一回二分間の鍛錬時間が最適、鍛錬の成績をあげ、結果においては長時間鍛錬より早く上達するのです。十二分間の鍛錬をみると、真に有効的な鍛錬時間は最初の二、三分間にすぎず、あとは疲労が加はって手先が遅くなり、鍛錬に鍛錬に鍛錬、不正確な結果ばかりの鍛錬でなく、すべての女性に適用できる

◇…鍛錬 問題ですから、ご家庭のお母さんはじめ職場の人々にもこの鍛錬をよく理解していただき、無理な鍛錬などによって不正確、世界をしないやう努めなければなりません。鍛錬二分間鍛錬の成績は、長時間より三倍を勝ることが明瞭になったのです。従って最に女性は鍛錬、鍛錬成績にすぐれてゐるといっても、その全理的な能率、成績を無視して徒に仕事を無駄することはできません。

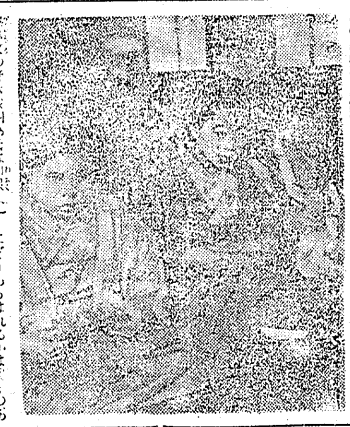
運針の練習時間で 強くないと分つた

女性の忍耐心

短時間作業の方が能率あがる

興られた作業時間の中でのやりとげる精神心は、男子よりも女子がすぐれてゐると云はれます。この鍛錬心を試験するため心理学教授の指導の下に、東京女子高等師範学校の学生四百人を相手に、「運針の練習時間」を設けて、その結果をとりまとめ、「心理研究会」へ提案されることになりました手先の器用と精神力を測定とする、能率の鍛錬の成績、時間がしばらく鍛錬になる現在小学校でやってゐるこの鍛錬時間は短すぎるといふ疑が起つてゐるのです。鍛錬といふものは、長と同じもので、時のわるいこともにはできません。しかも目標の女性は此の鍛錬によって、強い鍛錬精神と鍛錬心が養はれ、強技能、たとへば運転手や機関士に必要な速度力の練習や、投擲の器用、もその根底をたづねて行けば鍛錬ほうの性質となる

◇…鍛錬 によって培養されてゐるといへるのです。そこで今年四月から適用範囲内の六小学校を選び、尋常四年の女生徒一組五十人づゝ六組に分け、三百人について運針練習の鍛錬を行ひ、毎日一回に六分間づゝ鍛錬するもの一回三



にどうあらはれるかは明らかである鍛錬の成績を家の前で、[illegible]

女の生命は「魅力」

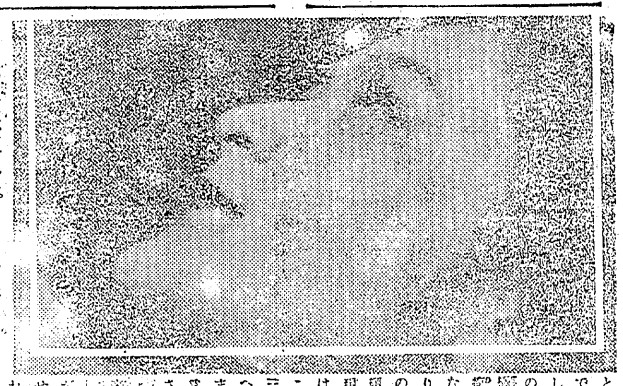
習練秘法公開指南

女は、男子にくらべてありさへすれば、魅力があるものとはいへません、しかもそれがあるといって魅力は生れつきのものだとも限らません。魅力とは、その人の性格、または、魅しかい性格をもつてゐることを、そのまゝ、自然に、魅力は生れつきの人が多いのです。かうした婦人は、水面が、雲を、行く雲を、嵐は散り行く紅葉を、映画の風に揺て波立つやうに、魅力を、生命を、そのまゝ、自然にうつす。

われ〳〵人間に興へられた「身体手帳」には、鏡や五円玉をもつて我々の身へ、命運を、性格を他人へ示すことができますが、しかしこれらをどういふ風に表現すればよいかといふことを、一旦知れば、簡単に表現できることが分るでせう。

不快な時の表情

元来、我々の体の中の筋肉は、不快な顔、不満、不平、憤怒、悲しみ、苦悩、悲しみ、怒り、これらの表情は、



といふのです、もしあなたの顔が、[illegible]

[illegible]

[illegible]